



神経精神医学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2021-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001076

室野重之. <指定講演>福島市におけるスギ花粉飛散予測の試み 2019. 第 27 回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20190907; 郡山.

仲江川雄太. <講演>気管カニューレについて. 会津中央病院勉強会; 20190927; 会津若松.

今泉光雅. <(全要研) 講演>援助者として理解すべき聴覚障害・知っておくべき心がけ. 2019 年度全難聴・全要研東北ブロック大会 in 福島; 20190928-29; 福島.

今泉光雅. <(全体会) 講演>聴覚再獲得への道: 現状と未来に向けて 最新の聴覚情報. 2019 年度全難聴・全要研東北ブロック大会 in 福島; 20190928-29; 福島.

多田靖宏. <教育講演 4>入院中の誤嚥・窒息予防を目的とした Eat assistance team (EAT) 結成までの道のり. 第 64 回日本音声言語医学会; 20191017-18; さいたま; 予稿集. 42.

松塚 崇. <グループ演習>全人的苦痛に対する緩和ケア. 太田西ノ内病院 2019 年度がん診療医師緩和ケア研修会; 20191221; 郡山.

〔その他〕

鹿野真人. <セミナー講師>声門閉鎖 (鹿野式). 第 6 回耳鼻咽喉・頭頸部外科手術手技研修 (第 29 回日本頭頸部外科学会サテライトセミナー). 厚生労働省「平成 30 年度手術手技向上研修事業補助金」; 20190124-26; 仙台.

室野重之, 鈴木政博, 野本美香, 今泉光雅, 黒田令子, 大槻好史, 鈴木 亮, 仲江川雄太, 小林徹郎, 菊地大介, 川瀬友貴. 手術手技実習講師. 第 1 回耳鼻咽喉科手術手技実習. 厚生労働省「平成 30 年度手術手技向上研修事業補助金」; 20190216; 福島.

小林徹郎. ラジオ福島 お母さん教室へラジオドクター; 201903; 福島.

神経精神医学講座

論 文

〔原 著〕

Ohnishi T, Balan S, Toyoshima M, Maekawa M, Ohba H, Watanabe A, Iwayama Y, Fujita Y, Tan Y, Hisano Y, Shimamoto-Mitsuyama C, Nozaki Y, Esaki K, Nagaoka A, Matsumoto J, Hino M, Mataga N, Hayashi-Takagi A, Hashimoto K, Kunii Y, Kakita A, Yabe H, Yoshikawa T. Investigation of betaine as a novel psychotherapeutic for schizophrenia. EBioMedicine. 201907; 45:432-446.

Ide M, Ohnishi T, Toyoshima M, Balan S, Maekawa M, Shimamoto-Mitsuyama C, Iwayama Y, Ohba H,

Watanabe A, Ishii T, Shibuya N, Kimura Y, Hisano Y, Murata Y, Hara T, Morikawa M, Hashimoto K, Nozaki Y, Toyota T, Wada Y, Tanaka Y, Kato T, Nishi A, Fujisawa S, Okano H, Itokawa M, Hirokawa N, Kunii Y, Kakita A, Yabe H, Iwamoto K, Meno K, Katagiri T, Dean B, Uchida K, Kimura H, Yoshikawa T. Excess hydrogen sulfide and polysulfides production underlies a schizophrenia pathophysiology. *EMBO Molecular Medicine*. 2019;12; 11(12):e10695.

Oe M, Maeda M, Ohira T, Itagaki S, Harigane M, Suzuki Y, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Ohto H. Parental Recognition of Bullying and Associated Factors Among Children After the Fukushima Nuclear Disaster: A 3-Year Follow-Up Study from the Fukushima Health Management Survey. *Frontiers in Psychiatry*. 2019;10:283.

Itagaki S, Wada T, Yokokura S, Ise Y, Sato A, Matsumoto T, Mashiko H, Niwa SI, Yabe H. Study of developmental disorders among newborns in Fukushima City after the Great East Japan Earthquake and nuclear power plant accident: an adjunct study of the Fukushima Regional Center of the Japan Environmental and Children's Study (JECS). *Fukushima Journal of Medical Science*. 2019;65(1):1-5. Erratum: 65(2):68-69.

Horikoshi S, Miura I, Ichinose M, Yamamoto S, Ito M, Watanabe K, Kanno-Nozaki K, Kaneko H, Yabe H. Low- and high-dose aripiprazole augmentation and plasma levels of homovanillic acid in major depressive disorder: A randomized, open-label study. *Human Psychopharmacology*. 2019;34(3):e2696.

Hayashi F, Sanpei M, Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Yasumura S, Nakajima S, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Changes in the mental health status of adolescents following the Fukushima Daiichi nuclear accident and related factors: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Affective Disorders*. 2019;260:432-439.

Iwasa H, Takebayashi Y, Suzuki Y, Yagi A, Zhang W, Harigane M, Maeda M, Ohira T, Yabe H, Yasumura S; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Psychometric evaluation of the simplified Japanese version of the Athens Insomnia Scale: The Fukushima Health Management Survey. *Journal of Sleep Research*. 2019;28(2):e12771.

Horikoshi S, Shiga T, Hoshino H, Ochiai H, Kanno-Nozaki K, Kanno K, Kaneko H, Kunii Y, Miura I, Yabe H. The Relationship between Mismatch Negativity and the COMT Val108/158Met Genotype in Schizophrenia. *Neuropsychobiology*. 2019;77(4):192-196.

Katsumi A, Hoshino H, Fujimoto S, Yabe H, Ikebuchi E, Nakagome K, Niwa SI. Effects of cognitive remediation on cognitive and social functions in individuals with schizophrenia. *Neuropsychological Rehabilitation*. 2019;29(9):1475-1487.

Ono CT, Yu Z, Kikuchi Y, Kunii Y, Hino M, Matsumoto J, Nagaoka A, Ito J, Iwasaki Y, Hagihara H, Miyakawa T, Yoshida M, Saito Y, Niwa SI, Yabe H, Kakita A, Tomita H. Minimal amount of tissue-based pH measurement to improve quality control in neuropsychiatric post-mortem brain studies. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. 2019;73(9):566-573.

Kosugi N, Oshiyama C, Kodama N, Niwa SI. Incorporating music therapy into cognitive remediation to

improve both cognitive dysfunction and negative symptoms in schizophrenia. Schizophrenia Research. 201902; 204:423-424.

Jodo E, Inaba H, Narihara I, Sotoyama H, Kitayama E, Yabe H, Namba H, Eifuku S, Nawa H. Neonatal exposure to an inflammatory cytokine, epidermal growth factor, results in the deficits of mismatch negativity in rats. Scientific Reports. 201905; 9(1):7503.

Kunii Y, Hino M, Matsumoto J, Nagaoka A, Nawa H, Kakita A, Akatsu H, Hashizume Y, Yabe H. Differential protein expression of DARPP-32 versus Calcineurin in the prefrontal cortex and nucleus accumbens in schizophrenia and bipolar disorder. Scientific Reports. 201910; 9(1):14877.

Ueda Y, Murakami M, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Orui M, Yasumura S, Ohira T; Fukushima Health Management Survey Group. Risk Factors for Problem Drinking among Evacuees in Fukushima following the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 201908; 248(4):239-252.

色摩弥生[亀岡], 刑部有祐, 大谷晃司. 医学生のアンプロフェッショナルな行動を防ぐための特別授業の報告
飲酒と性暴力. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):19-30.

〔その他〕

阿部 理, 國井泰人, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 甲状腺ホルモンの気分安定化作用についての考察
経過中に甲状腺全摘除を施行された双極性障害の一例から. 心身医学. 201901; 59(1):78-79.

林 薫, 志賀可奈子, 松本貴智, 山岸良平, 本谷 亮, 畠山 毅, 堀越 翔, 矢部博興. 描画療法と治療者交
代が治療転帰となった摂食障害患者との心理療法. 心身医学. 201901; 59(1):81.

堀越 翔, 三浦 至, 大島洋和, 竹内 賢, 本田教一, 熊倉徹雄, 沼田吉彦, 丹羽真一, 矢部博興. 震災スト
レスによる抑うつ、消化器症状に mirtazapine が有効であった 2 症例. 心身医学. 201901; 59(1):82.

落合晴香, 國井泰人, 板垣俊太郎, 畠山 毅, 古川 大, 三浦 至, 矢部博興. 肝硬変による代謝障害を背景
にした非けいれん性てんかん重積状態の一例. 心身医学. 201901; 59(3):266-267.

戸田 亘, 松本純弥, 志賀哲也, 堀越 翔, 三浦 至, 矢部博興, 戸田 亘, 松本純弥, 志賀哲也, 堀越
翔, 三浦 至, 矢部博興. 非定型精神病の発症後長期間経過してからてんかん発作を初発した 1 例. 精神神経学
雑誌. 201906; 121(6):509.

浅野太志, 松本純弥, 板垣俊太郎, 刑部有祐, 戸田 亘, 森 湧平, 三浦 至, 矢部博興. 発症後の社会適応
が維持されたゆえに処遇困難となった統合失調症の 1 例. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):509-510.

穂積宏俊, 野崎途也, 堀越 翔, 一瀬瑞絵, 泉 竜太, 三浦 至, 矢部博興. アカシア茶とモクロベミドを服
用し幻覚妄想状態を呈した 1 例. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):510-511.

森 湧平, 松本純弥, 刑部有祐, 戸田 亘, 浅野太志, 三浦 至, 矢部博興. mECT による抑うつ症状の改善

後も食欲不振が遷延したうつ病の1例. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):511-512.

泉 竜太, 堀越 翔, 國井泰人, 松本純弥, 野崎途也, 一瀬瑞絵, 穂積宏俊, 三浦 至, 矢部博興. 記憶回復後に SPECT で脳血流の改善を認めた全生活史健忘の1例. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):512-513.

青木俊太郎, 成瀬麻夕, 堀内 聡, 矢部博興. うつ病患者の治療期間と家族からの批判の関係性. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):512.

一瀬瑞絵, 堀越 翔, 板垣俊太郎, 松本純弥, 刑部有祐, 平尾美枝子, 三浦 至, 矢部博興. うつ状態を呈する医療従事者に対する治療の困難さについて. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):512.

齊藤祐子, 柿田明美, 吉田真理, 村山繁雄, 入谷修二, 寺田修司, 大島健一, 矢部博興, 井上悠輔, 田中紀子. 臓器病理学の最近の進歩 脳・神経 日本ブレインバンクネットの構築. 日本病理学会会誌. 201904; 8(1):219.

泉 竜太, 刑部有祐, 松本純弥, 三浦 至, 矢部博興. てんかん重積発作後に突然呼吸抑制及び心静止に至った sudden unexpected death in epilepsy(SUDEP)の一例. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):167.

森 湧平, 松本純弥, 刑部有祐, 戸田 亘, 浅野太志, 三浦 至, 矢部博興. 精神症状のため身体的治療介入への意向確認に難渋した一例を通して, 精神科患者における身体的治療に対する同意への考察. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):167.

堀越 翔, 國井泰人, 松本純弥, 平尾美枝子, 後藤大介, 三浦 至, 矢部博興. アルツハイマー型認知症の長期予後に与えるベースライン時の因子について. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):168.

穂積宏俊, 野崎途也, 堀越 翔, 戸田 亘, 浅野太志, 矢部博興. 食思振の原因検索に上部消化管内視鏡を必要とした一例. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):168.

和田知紘, 板垣俊太郎, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 横倉俊也, 佐藤亜希子, 松本貴智, 伊瀬陽子, 増子博文, 矢部博興. 精神科における主治医交代の影響と対策 愛着障害の思春期女性症例を通して. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):168.

戸田 亘, 堀越 翔, 刑部有祐, 松本純弥, 浅野太志, 森 湧平, 三浦 至, 矢部博興. クロザピン誘発性無顆粒球症を発症した高齢治療抵抗性統合失調症の1例. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):171.

浅野太志, 堀越 翔, 松本純弥, 野崎途也, 戸田 亘, 穂積宏俊, 三浦 至, 矢部博興. 福島県立医科大学附属病院における作用機序別の睡眠薬使用状況について. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):172.

石山あかね, 堀越 翔, 大西真央, 菊地 潤, 志賀可奈子, 上田由桂, 松本貴智, 高橋雄一, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 大学病院での集団心理教育の試み. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):174.

矢部博興. Berger の夢の先にある認知脳波の一つの形 ミスマッチ陰性電位(MMN). 臨床神経生理学. 201910; 47(5):312.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 増子博文, 矢部博興, 紺野慎一. 疼痛と神経科学 慢性腰痛の診断と治療

集学的アプローチの現状と課題. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):349.

青木俊太郎, 戸田 亘, 菅野和子, 大谷晃司, 本谷 亮, 横倉俊也, 松本純弥, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 疼痛と神経科学 疼痛と認知行動療法の研究. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):350.

板垣俊太郎, 戸田 亘, 松本純弥, 大西 隆, 伊藤 浩, 志賀哲也, 松本貴智, 青木俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 成人の神経発達症のバイオマーカー 発達障害における Mismatch Negativity(MMN)と脳画像解析の統合の試み. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):382.

星野 大, 志賀哲也, 菅野和子, 野崎途也, 刑部有祐, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位の基礎 聴覚ミスマッチ陰性電位の発生にかかわる聴覚処理と感覚記憶について. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):395.

志賀哲也, 落合晴香, 星野 大, 堀越 翔, 菅野和子, 大島洋和, 三浦 至, 松岡貴志, 矢部博興. 統合失調症の病と MMN 統合失調症治療とミスマッチ陰性電位(MMN). 臨床神経生理学. 2019; 47(5):417.

高橋雄一, 星野 大, 刑部有祐, 吉田久美, 松本貴智, 青田美穂, 今野 嶺, 藤井進也, 青木俊太郎, 菅野和子, 各務竹康, 森 湧平, 和田知紘, 志賀哲也, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 三浦 至, 大井直往, 福島哲仁, 矢部博興. 統合失調症に対するリズム改善プログラムがミスマッチ陰性電位に及ぼす影響. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):425.

森 湧平, 星野 大, 志賀哲也, 菅野和子, 野崎途也, 刑部有祐, 疋田雅之, 浅野聡子, 和田知紘, 高橋雄一, 大西真央, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 矢部博興. 統合失調症患者における言語音連続刺激の欠部落がミスマッチ陰性電位に与える影響. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):425.

和田知紘, 板垣俊太郎, 星野 大, 刑部有祐, 菅野和子, 高橋雄一, 大西真央, 浅野聡子, 森 湧平, 野崎途也, 疋田雅之, 志賀哲也, 松岡貴志, 矢部博興. 神経性やせ症における体重回復前後でのミスマッチ陰性電位の変化についての中間報告. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):425.

落合晴香, 志賀哲也, 菅野和子, 星野 大, 和田知紘, 刑部有祐, 堀越 翔, 三浦 至, 矢部博興. 統合失調症の認知機能障害に対するオキシトシン点鼻薬の効果. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):426.

星野 大, 高橋雄一, 藤井進也, 今野 嶺, 刑部有祐, 野崎途也, 菅野和子, 疋田雅之, 和田知紘, 森 湧平, 大西真央, 志賀哲也, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位とリズム能力の関連性についての検討. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):428.

菅野和子, 星野 大, 刑部有祐, 大西真央, 高橋雄一, 森 湧平, 和田知紘, 野崎途也, 志賀哲也, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 三浦 至, 松岡貴志, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位における覚醒水準の影響について. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):429.

星野 大, 野崎途也, 刑部有祐, 菅野和子, 疋田雅之, 和田知紘, 森 湧平, 大西真央, 高橋雄一, 志賀哲也, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 矢部博興. 刺激中の音の欠落がミスマッチ陰性電位(MMN)に与える影響. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):429.

刑部有祐, 星野 大, 菅野和子, 志賀哲也, 高橋雄一, 大西真央, 森 湧平, 和田知紘, 伊藤典和, 野崎途也, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 三浦 至, 松岡貴志, 矢部博興. 中間潜時反応は持続長変化課題に対する自動的な認知を反映するか. 臨床神経生理学. 201910; 47(5):429.

青木俊太郎, 戸田 亘, 菅野和子, 大谷晃司, 本谷 亮, 横倉俊也, 松本純弥, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 疼痛性障害に対する集団行動活性化の「痛み度」の変化に関する予備調査. 臨床神経生理学. 201910; 47(5):447.

戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤浩, 紺野慎一, 矢部博興. 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 臨床神経生理学. 201910; 47(5):448.

研究発表等

〔研究発表〕

Miura I, Nosaka T, Yabe H, Hagi K. Anti-Depressive Effect of Antipsychotics in the Treatment of Schizophrenia: Meta-Analysis of Randomized Placebo-Controlled Trials. 2019 Annual Meeting of the American Psychiatric Association; 20190518-22; San Francisco, USA.

三浦 至, 野坂忠史, 矢部博興, 萩 勝彦. 統合失調症患者に対する抗精神病薬の抗うつ作用の検討: ランダム化比較試験の系統的レビューとメタ解析. 第 29 回日本臨床精神神経薬理学会; 20190518-22; 福岡.

矢部博興. 精神医学診断に望まれる科学と力動的視点 (福島医大の研究の取り組み) . Psychiatrist Forward; 20190529; 札幌.

湯川尊行, 岩倉百合子, 武井延之, 斎藤摩美, 渡部雄一郎, 豊岡和彦, 五十嵐道弘, 新里和弘, 大島健一, 國井泰人, 矢部博興, 松本純弥, 和田 明, 日野瑞城, 入谷修司, 丹羽真一, 竹内亮子, 高橋 均, 柿田明美, 染矢俊幸, 那波宏之. 統合失調症患者における脳内コンドロイチン硫酸鎖の変化. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S410.

戸田 亘, 松本純弥, 板垣俊太郎, 大西 隆, 伊藤 浩, 石井士朗, 志賀哲也, 松本貴智, 青木俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 自閉スペクトラム症の傾向と白質線維束における関連解析の試み. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S467.

一瀬瑞絵, 松本純弥, 板垣俊太郎, 刑部有祐, 山本慎之助, 三浦 至, 矢部博興. 解離性幻聴が強くみられた強迫性障害の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S477.

泉 竜太, 松本純弥, 國井泰人, 戸田 亘, 石井士朗, 伊藤 浩, 三浦 至, 矢部博興. 解離性健忘における脳血流 SPECT 画像の 3D-SRT 解析における検討 ケースシリーズ. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S477.

志賀哲也, 堀越 翔, 穂積宏俊, 森 湧平, 和田知紘, 落合晴香, 星野 大, 菅野和子, 刑部有祐, 野崎途

也, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 三浦 至, 松岡貴志, 矢部博興. 統合失調症バイオマーカーとしての Mismatch negativity(MMN) 統合失調症のドーパミンシステムとミスマッチ陰性電位(MMN). 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S524.

浅野太志, 堀越 翔, 松本純弥, 野崎途也, 戸田 亘, 穂積宏俊, 三浦 至, 矢部博興. 福島県立医科大学附属病院における診療科別の睡眠薬使用状況について. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S592.

坂井美和子, 渡部雄一郎, 染矢俊幸, 荒木一明, 澁谷雅子, 新里和弘, 大島健一, 國井泰人, 矢部博興, 松本純弥, 和田 明, 日野瑞城, 橋本健志, 菱本明豊, 北村 登, 入谷修司, 白川 治, 前田 潔, 宮下哲典, 丹羽真一, 高橋 均, 柿田明美, 桑野良三, 那波宏之. 統合失調症患者の脳内ゲノムにおけるコピー数変異の評価. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S603.

堀越 翔, 國井泰人, 松本純弥, 平尾美枝子, 後藤大介, 三浦 至, 矢部博興. 抗認知症薬の 6 ヶ月後の治療反応性はその後の転帰に影響するか. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S617.

穂積宏俊, 三浦 至, 野崎途也, 刑部有祐, 高橋信久, 菊田 敦, 矢部博興. セフェピムにより急性の精神・行動症状をきたした抗菌薬関連脳症の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S647.

森 湧平, 松本純弥, 刑部有祐, 堀越 翔, 戸田 亘, 浅野太志, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 抗アレルギー薬投与を契機に体系的な妄想が出現・持続したパーキンソン病患者の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S647.

松本純弥, 刑部有祐, 戸田 亘, 泉 竜太, 一瀬瑞絵, 森 湧平, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. ビフィズス菌腸剤の過量服薬を繰り返した境界性パーソナリティ障害の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S649.

三浦 至, 金子春香, 堀越 翔, 伊藤雅史, 山本慎之助, 一瀬瑞絵, 浅野太志, 山本ちひろ, 渡辺研弥, 野崎啓子, 矢部博興. 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座の研究 精神薬理・Genetics 研究. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟.

一瀬瑞絵, 三浦 至, 浅野太志, 山本慎之助, 伊藤雅史, 堀越 翔, 金子春香, 渡辺研弥, 山本ちひろ, 野崎啓子, 矢部博興. 急性期統合失調症における brexpiprazole の有効性. 第 29 回日本臨床精神神経薬理学会・第 49 回日本神経精神薬理学会合同年会; 20191011-12; 福岡. プログラム・抄録集 149.

渡辺研弥, 野崎啓子, 三浦 至, 森田直希, 陣野大輔, 山本ちひろ, 浅野太志, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 落合晴香, 伊藤雅史, 堀越 翔, 金子春香, 和泉啓司郎, 矢部博興. クロザピン血漿中濃度高値での治療にけいれん発作が出現した治療抵抗性統合失調症の一例. 第 29 回日本臨床精神神経薬理学会・第 49 回日本神経精神薬理学会合同年会; 20191011-12; 福岡. プログラム・抄録集 152.

三浦 至, 野坂忠史, 矢部博興, 萩 勝彦. 統合失調症患者に対する抗精神病薬の抗うつ作用の検討 ランダム化比較試験の系統的レビューとメタ解析. 第 29 回日本臨床精神神経薬理学会・第 49 回日本神経精神薬理学会合同

年会; 20191011-12; 福岡. プログラム・抄録集 157.

江口依里, 大平哲也, 舟久保徳美, 中野裕紀, 林 史和, 前田正治, 安村誠司, 鈴木友理子, 矢部博興, 荻野景規, 神谷研二. 東日本大震災後の笑いの頻度と生活習慣病及び循環器疾患との関連. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):218.

安村誠司, 大平哲也, 坂井 晃, 高橋敦史, 後藤紗織, 桃井真帆, 針金まゆみ, 堀越直子, 前田正治, 矢部博興, 岩佐 一, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災時に避難区域等に居住の高齢者の6年後の健康状態 福島「県民健康調査」. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):251.

岡崎可奈子, 高橋敦史, 大平哲也, 中野裕紀, 林 史和, 坂井 晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の避難区域住民のメタボリックシンドロームに関連する心理社会的要因. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):338.

林 史和, 大平哲也, 中野裕紀, 岡崎可奈子, 針金まゆみ, 安村誠司, 前田正治, 高橋敦史, 矢部博興, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子についての検討 福島県県民健康調査. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):429.

堀越直子, 前田正治, 岩佐 一, 桃井真帆, 及川祐一, 音地美穂, 柏崎佑哉, 針金まゆみ, 矢部博興, 安村誠司. 福島県県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」電話支援の有用性. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):513.

板垣俊太郎, 浅野太志, 和田知紘, 横倉俊也, 伊瀬陽子, 佐藤亜希子, 松本貴智, 増子博文, 矢部博興. グアンファシンにより多剤併用療法を解消出来た発達障害の一例. 第60回日本児童青年精神医学会総会; 20191205-07; 宜野湾. 抄録集. O2-4.

浅野太志, 板垣俊太郎, 佐藤亜希子, 横倉俊也, 和田知紘, 伊瀬陽子, 松本貴智, 増子博文, 矢部博興. 家族全員が強迫性障害であり巻き込み行為によって症状が悪化した強迫性障害の一例. 第60回日本児童青年精神医学会; 20191205-07; 宜野湾. 抄録集. O6-4.

和田知紘, 板垣俊太郎, 松本貴智, 浅野太志, 横倉俊也, 佐藤亜希子, 伊瀬陽子, 増子博文, 矢部博興. 神経性やせ症における体重回復前後での認知機能変化についての中間報告 青年期の1例について. 第60回日本児童青年精神医学会; 20191205-07; 宜野湾. 抄録集. P17-2.

佐藤亜希子, 板垣俊太郎, 松本貴智, 浅野太志, 横倉俊也, 和田知紘, 伊瀬陽子, 國井泰人, 増子博文, 矢部博興. セリアック病と診断した素行障害の一例. 第60回日本児童青年精神医学会; 20191205-07; 宜野湾. 抄録集. P23-3.

〔シンポジウム〕

三浦 至. 統合失調症薬物治療ガイドライン改訂版の狙いと範囲 「統合失調症薬物治療ガイドライン改訂版：特殊な病態」. 第29回日本臨床精神神経薬理学会; 20190518-22; 福岡.

矢部博興. 統合失調症のミスマッチ陰性電位(MMN)発生異常. 第41回日本生物学的精神医学会; 20190622-23;

新潟.

三浦 至. 統合失調症薬物療法の多様な課題にどう対応するか 「統合失調症維持期の薬物療法」. 第 49 回日本神経精神薬理学会; 20191013; 福岡.

三浦 至. 今日の統合失調症研究 「今日の統合失調症研究：精神薬理学」. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術大会; 20191128-30; 福島.

〔特別講演〕

矢部博興. 福島医大における統合失調症研究. Psychiatrist Forward in Hakodate; 20190511; 函館.

矢部博興. 生きづらさを生む人間関係からの覚醒. いのちの電話講演会; 20190601; 郡山.

放射線医学講座

論 文

〔原 著〕

Inomata T, Watanuki S, Odagiri H, Nambu T, Karakatsanis NA, Ito H, Watabe H, Tashiro M, Shidahara M. A systematic performance evaluation of head motion correction techniques for 3 commercial PET scanners using a reproducible experimental acquisition protocol. Annals of Nuclear Medicine. 201907; 33(7):459-470.

Ikoma Y, Kimura Y, Yamada M, Obata T, Ito H, Suhara T. Correction of head movement by frame-to-frame image realignment for receptor imaging in positron emission tomography studies with [11C]raclopride and [11C]FLB 457. Annals of Nuclear Medicine. 201912; 33(12):916-929.

Ishii S, Miyajima M, Suenaga H, Sugawara S, Nemoto A, Ukon N, Nambu T, Kubo H, Oriuchi N, Ito H. Detectability of malignant lesions by whole-body magnetic resonance imaging using whole-body integrated positron emission tomography/magnetic resonance imaging. Journal of Computer Assisted Tomography. 201907; 43(4):664-670.

Soeda S, Kyozuka H, Kato A, Fukuda T, Isogami H, Wada M, Murata T, Hiraiwa T, Yasuda S, Suzuki D, Yamaguchi A, Hasegawa O, Nomura Y, Jimbo M, Takahashi T, Watanabe T, Mizunuma H, Fujimori K. Establishing a Treatment Algorithm for Puerperal Genital Hematoma Based on the Clinical Findings. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 201910; 249(2):135-142.

Sudo H, Tsuji AB, Sugyo A, Nagatsu K, Minegishi K, Ishioka NS, Ito H, Yoshinaga K, Higashi T. Preclinical evaluation of the acute radiotoxicity of the α -emitting molecular-targeted therapeutic agent ^{211}At -MABG for the treatment of malignant pheochromocytoma in normal mice. Translational Oncology. 201907; 12(7):879-888.